札幌市立栄中学校　学校だより　第４号

北ぐに

（2024 年）7 月 25 日（木）発行

あきらめない心

校長　瀧澤　佳実

今日で1学期が終わります。それぞれ新しい学年になってスタートしましたが、皆さんはどんなふうに成長できましたか。

昨年度の生徒会誌「烈風」の巻頭言で、「炎鵬」という力士のことについて書かれた「さ、ひっくり返そう」という文章を紹介しました。ネガティブに感じる文章を反対から読んでみたら、逆転劇が始まる、というものでした。1年生は読んでいないのですが、2、3年生の皆さんは、覚えていますか？

今、大相撲名古屋場所が行われています。私は大相撲にそんなに興味はないのですが、「引退危機から 420 日ぶり土俵 人気小兵力士が涙の取組」という見出しが目に飛び込んできました。何気なく読み進めていくと、引退危機から復活した力士が、あの炎鵬関であることがわかりました。昨年の夏に脊髄損傷という大けがをして、一時は寝たきり状態だったそうです。再起不能寸前の状況でしたが、炎鵬関は「相撲は生きがい」とあきらめきれませんでした。首に負担のかからない体の使い方などを学びながら、壮絶なリハビリを乗り越えて、土俵に戻ってきました。館内から惜しみない拍手が送られた再起の一番は残念ながら黒星。炎鵬関は「最高だった。相撲は最低だけど。」「言葉にならない。感謝しかない。」と涙ぐむ場面もありました。7 月 22 日現在の成績は、3勝1敗。取組が毎日あるわけではないのでこの数字ですが、初日の黒星以外は白星を重ね、炎鵬関は新たな一歩を歩み始めました。

「さ、ひっくり返そう」の文章は、コロナ禍のときには私たちに前に進む勇気を与えてくれました。そして今回、大けがから立ち上がった炎鵬関は「あきらめない心」を教えてくれました。炎鵬関は、「正直、星のことは気にしていません。元気な体で土俵に上がって、降りることが自分にとって大切なこと。また次の相撲を取れることは喜びですね。」とも話し、土俵に上がれる日々に感謝していました。これからも炎鵬関を応援していこうと思いました。

「さ、ひっくり返そう」の文章を載せましたので、改めて読んでみてください。

今学期も、いろいろな行事を予定通り実施することができました。私は3年生と一緒に修学旅行に行ってきました。私自身、10 年ぶりくらいの東北・道南の旅でしたが、懐かしい訪問地もあり、楽しい3日間を過ごすことができました。訪問した施設での真剣な眼差し、仲間と一緒の素敵な笑顔と、たくさんの思い出を作ることができました。また、毎日の生活の中で、皆さんが頑張る姿を見ることもできました。

中体連の応援にも一通り行ってきました。あちこちの会場を回って、長い時間応援することはできませんでしたが、仲間と一緒に最後まで粘り強く取り組む姿、みんなで一生懸命応援している姿は、とても立派でした。一区切りがついた皆さん、お疲れさまでした。全道大会に駒を進めたソフトボール部、陸上部、ソフトテニス部の皆さん、東区音楽会に参加する太鼓部と吹奏楽部の皆さん、そして吹奏楽コンクールに出場する吹奏楽部の皆さん、栄中学校を代表して頑張ってきてください。

「さ、ひっくり返そう」

大逆転は、起こりうる。
わたしは、その言葉を信じない。
どうせ奇跡なんて起こらない。
それでも人々は無責任に言うだろう。
小さな者でも大きな相手に立ち向かえ。
誰とも違う発想や工夫を駆使して闘え。
今こそ自分を貫くときだ。
しかし、そんな考え方は馬鹿げている。
勝ち目のない勝負はあきらめるのが賢明だ。
私はただ、為す術もなく押し込まれる。
土俵際、もはや絶体絶命。

「ここまで読んでくれたあなたへ。文章を下から上へ、一行ずつ読んでみてください。逆転劇が始まります。」

明日からは夏休みです。楽しい計画がある人も多いと思います。規則正しい生活を心がけ、いつも以上に交通事故や水の事故、熱中症にも気をつけて、安全に過ごしましょう。無理をしないで、自分や自分の周りの人たちの命を大切にしてください。私は、まもなく開催されるパリオリンピックがとても楽しみです。北海道出身の選手をはじめとして、いろいろな種目の応援ができることをとても楽しみにしています。やらなければならないことはもちろんしっかり取り組みますが、長いお休みにしかできないことにもぜひ挑戦してください。おうちのお手伝いも頑張ってほしいです。

2学期の始業式で元気に会えることを楽しみにしています。

１学期の反省と２学期の抱負

１年４組　O.Y

初めて中学生として迎えた一学期はあっという間に終わり、明日から長い夏休みに入ります。そんなあっという間に過ぎた一学期を通して二つの観点で成長できたのではないかと感じます。

一つ目は勉強面です。小学校を卒業し中学生になり、勉強する量が多くなりました。そのため、いざ一斉テストの準備期間となると、前半は計画的に勉強することに苦労しました。そこで毎日机に向かい、コツコツ勉強を進めることを決意し、習慣づけることができました。私はあまり得意としていなかった教科である社会を克服するために、ただ暗記するのではなく、どうしてそうなるのかその物事の背景を読み取ることを意識しました。結果的にはまだ伸びしろがたくさんあると思うので、この夏休みで気を抜かず、さらに成長していきます。

二つ目は部活動です。私たち野球部は全市大会優勝、全道大会出場を目指しました。そのために私は日頃の練習から意識していたことがあります。それは「なんとなく練習しない」ということです。中体連初戦から私は試合に出場させてもらいました。残念ながら目標達成はできませんでしたが、先輩たちに引っ張ってもらい、全市ベスト８まで勝ち進む経験をさせてもらいました。次の新人戦では、チームに貢献できるよう頑張っていきます。

また一学期で良い点もありましたが、悪い点もありました。それは時間を守って行動できなかったことです。五分前入室、三分前着席などを時々実行できませんでした。そのような生活習慣を直すため、夏休みで早寝早起きをし、時間に余裕をもって行動することをしていきます。

長い夏休みを経て、やがて二学期がスタートします。充実した二学期にするため、一学期で学んだ、「継続の大切さ」や「自分で計画を立てることの大切さ」、「時間を守ることの大切さ」この三点を意識し、文武両道に励んでいきます。

２学期始業式

服　装 ： 標準服・指定ジャージどちらも可

持ち物 ： 上靴、筆記用具、夏休みの課題、授業道具　等

※給食はありません。

中体連全道大会進出に関する
体育文化振興会協賛金のお願い

厳しい予選を勝ち抜き、下記の部活動が全道大会へ進出しました。

【全道大会】

種目	開催地	開催期間
ソフトボール	由仁町	７月26日～７月28日
陸上競技	函館市	７月26日～７月28日
ソフトテニス	千歳市	７月30日～７月31日

体育文化振興会では中体連全道大会、全国大会への出場に際し、旅費を補助しております。しかしながら、予算が逼迫しているため、今年度も昨年度に引き続き、協賛金のご協力をお願いしています。

詳しくは、学校ホームページまたは配布プリントをご覧いただき、ご協賛いただければ幸いです。

既に協賛金をお持ちいただいた皆様には心より感謝申し上げます。

今年度の「１日総合」について

「総合的な学習の時間＝実りタイム」の学習内容の一つは、『自分らしさ』の探究　～自己実現の時間～です。「校外に出たり、直接話を聞いたりすることによって、『社会から学ぶ』」ことに重点を置き、学校生活をベースに他者とかかわることや、自分の興味・関心をもった課題を主体的に調べ、まとめ、発表する活動を通して、生徒の主体性を育むことをねらいとしています。１日全て総合的な学習の時間に取り組むのが「１日総合」です。

今年度の１日総合は、11月１日（水）に行われます。

１学年は校内で職業についての講話を聴きます。2、3学年は校外での活動となり、2学年は各自で希望した職業分野での職場体験をし、3学年は個人のテーマに合わせて、札幌の上級学校（専門学校等）を訪問し取材します。

夏季休校日のお知らせ

札幌市教育委員会では、昨今、全国的な課題となっている教職員の長時間労働等への対策として、夏休み期間中に「夏季休校日」の取組を実施しております。これに伴い、本校では8月 13 日（火）、14 日（水）、15 日（木）を夏季休校日とし、年末年始の休日等と同様に、学校としての休校日とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。電話も終日転送いたします。

また、夏季休業中は16:45～8:15は電話を転送しています。

※緊急の場合は、札幌市教育委員会教職員課
（TEL211－3853）までお願いいたします。